

<p>●主題を基に構想を練る。 ・絵コンテを作成する。 ・撮影の下準備をする。</p>			<p>発 構想がまとまらない生徒に対して、再度、主題を見直させたり、造形の要素の効果と主題との関係について考えさせたり、主題に基づいた全体のイメージを捉えさせたりするなどの指導を行う。【ワークシート、絵コンテ】</p> <p>態表 構想について意欲的に取り組めていない生徒に対して、主題を改めて考えさせたり、造形の要素が感情にもたらす効果や、全体のイメージなどの造形的な視点に立って考えさせたりするなどの指導を行う。</p> <p>【活動の様子、ワークシート、アイデアスケッチ】</p> <p>発 主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形体や色彩、動き、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っているかどうかを暫定的に評価し、第三次(3.制作)で再度評価を行う。</p> <p>【ワークシート、絵コンテ】</p> <p>態表 主体的に発想や構想の活動に取り組み、造形の要素の働きや、全体のイメージや作風などで捉えることを理解しようとし、生成した主題をよりよく表すために創造的に構想を練ろうとする態度を評価する。</p> <p>【活動の様子、ワークシート、絵コンテ】</p>
<p>3. 制作(1時間)</p> <p>●発想や構想をしたことを基に創造的に表す。 ・アニメーションを撮影する。</p>	<p>技 ↓</p>	<p>発 ↓</p>	<p>技 態表 発想や構想をしたことなどを基に、意図に応じて材料や用具の特性を生かしたり、表現方法を創意工夫したりして表しているかどうかや、意欲的に主題を追求しているかなどの態度を見取る。できていない生徒に対して、主題をもう一度見直させたり、表現の意図と用具の特性とを関連させて再考させたりするなどの指導を行う。【制作途中の作品、活動の様子】</p> <p>発 材料や用具の選定や配色などがまとまらない生徒には、再度、主題や構想を確認させるなどの指導を行う。【制作途中の作品】</p> <p>知 造形の要素の働きや、全体のイメージや作風などで捉えることが理解できていない生徒に対して再度、指導を行う。【制作途中の作品】</p> <p>知・技 材料や用具の特性の生かし方、表現方法の創意工夫、主題を追求して表しているかなどを見取るとともに、造形の要素の働きや、全体のイメージや作風などで捉えることを理解しているかを併せて見取り、知と技を一体的に評価する。【作品、ワークシート】</p> <p>発 主題の変化や材料や用具の選定、配色計画などの構想を含めて、発想や構想を再度見取り評価する。【作品】</p>

			<p>態表 主体的に制作に取り組み、造形の要素の働きや、全体のイメージや作風などで捉えることを理解しようとし、意図に応じて用具の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表そうとしている態度を評価する。【活動の様子、作品】</p>
<p>4. 鑑賞(1時間)</p> <p>●相互鑑賞し、見方や感じ方を深める。 ・グループで作品を紹介し合う。 ・作品のこだわりや制作意図、感想を書く。</p>	<p>知 ↓</p>	<p>鑑 ↓</p>	<p>鑑 態鑑 作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めているかどうかと、学習に取り組む態度とを見取る。できていない生徒に対して主題から作品を見つめさせたり、作者の心情について考えさせたりするなどの指導を行う。【発言の内容、ワークシート、活動の様子】</p> <p>知 造形の要素の働きや、全体のイメージや作風などで捉えることを理解していない生徒に対して再度、指導を行う。【発言の内容、ワークシート】</p> <p>態鑑 主体的に作品を鑑賞して、造形の要素の働きや、全体のイメージや作風などで捉えることを理解しようとし、造形的なよさや美しさを、感じ取ろうとしたり、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えようとしていたりしているかを評価する。【活動の様子、ワークシート】</p>

※評価方法、留意点について、細字は指導上の留意点を、太字は評価方法を示している。【】内は評価の方法や学習の実現状況を見取るための資料を示している。

8 本時の目標と計画

(1) 目標

アニメーションの基礎的な知識を深めるとともに、造形の要素の働きや、全体のイメージや作風などで捉えることについて理解する。

(2) 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準、評価方法等
導入 5分	<p>・本時の流れと本課題のタイムスケジュールを確認する。</p>	<p>・本時の活動の流れがつかめるようにする。 ・BYOD 機器を忘れた場合は借りに行かせておく。</p>	
展開 40分	<p>・「ニヤッキ!」と、NHK 高校講座 美術 I 第16回を視聴する。 絵でできる動きの表現やコマ撮りアニメーションでできる表現や、絵コンテの書き方などを学ぶ。 ・アプリを起動し、使用感を確認しながらできる表現を考える。 ・参考作品を視聴し、制作の流れをつかむ。</p>	<p>・YouTube や NHK で放映されているアニメーションなど、身近に感じられる題材を用意する。 ・アプリを起動する際は時間を区切って確認させる。</p>	